



株主の皆様へ

第113期 中間報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの第113期第2四半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長  
最高執行責任者(COO)

酒井 万喜夫

## 事業の概況

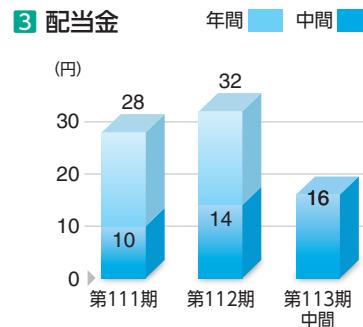
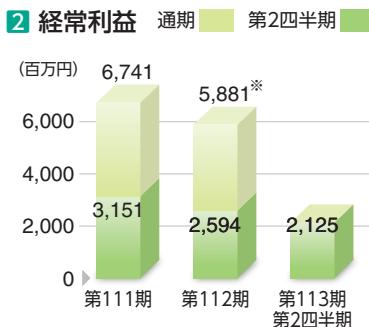
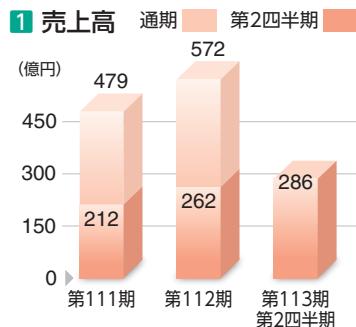
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しているものの、原材料価格等のコスト上昇や相次ぐ自然災害により停滞が懸念される状況となりました。さらに世界経済の先行きについても、米国の保護主義的な政策に端を発する貿易摩擦激化の影響から、依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当期からスタートしております中期経営計画に基づき、国内事業での安定的な収益基盤の構築、「技術のニットワ」の強化と新技術・新製品の開発等に取り組み、企業価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、自動車製品関連事業を中心とした国内外での受注増加により286億7千万円（前年同期比9.3%増）となりました。損益面につきましては、一定の増収効果があったものの、原材料価格の高騰や固定費負担の増加等から、営業利益は11億1千9百万円（前年同期比9.6%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益の減少等により21億2千5百万円（前年同期比18.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億8千9百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ39億5千5百万円減少の726億9千9百万円、負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億5百万円減少の292億7千5百万円、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千万円減少の434億2千3百万円となりました。

中間配当金につきましては、第2四半期及び通期の業績動向、配当性向等を総合的に勘案し、前年の中間配当金から1株当たり2円増配し、16円とさせていただきます。



※第112期の経常利益は、主に持分法による投資利益が第111期比で減少したこと（第111期は米国関連会社における固定資産売却益960百万円を特別に計上）等により、第111期を下回っております。

## 今後の見通し

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績に加え、原材料高の影響を含む外部環境や最近の業績動向等を踏まえ、平成30年5月9日に公表しました業績予想を以下のとおり修正しております。

平成31年3月期 通期 連結業績予想 (単位:百万円)

	平成30年 3月期	平成31年 3月期
売上高	57,260	60,400
営業利益	3,286	2,600
経常利益	5,881	4,400
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,960	2,600

セグメント別内訳 (平成31年3月期予想)

	塗料関連事業	自動車製品 関連事業
売上高	16,800	43,600
セグメント利益	300	2,300

## 中期経営計画策定について

当社は、2020年度(2021年3月期)を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。

当社を取り巻く経営環境は、自動車業界は100年に一度と言われる大変革期を迎えており、塗料業界は業界内の熾烈な競争が続くことが予想されます。こうした中、当社は国内事業で安定的に利益を生み出す体質への転換により他社に対する競争優位性を確立し、持続可能な成長を実現する体制を構築するとともに、ニッポグループ全社が一丸となり、経営の「基本理念」「基本方針」を着実に実践し、さらなる企業価値向上を追求する企業グループを目指すべく、次のとおり中期経営計画を策定いたしました。

### 経営の基本戦略

#### 1 国内事業の安定的な収益基盤の構築

機能性・軽量化・環境対応を主眼に、高付加価値製品の販売強化、生産効率化とコスト低減、品質向上を推進し、安定的かつ継続的な収益基盤を構築

#### 2 「技術のニッポ」の強化と新技術・新製品の開発

ニッポらしさ・強みを生かした高機能・高付加価値製品の開発に加え、次世代環境車、新モビリティサービスの進展を見据えた将来技術の開発や防音技術を生かした新たなビジネス展開を目指す

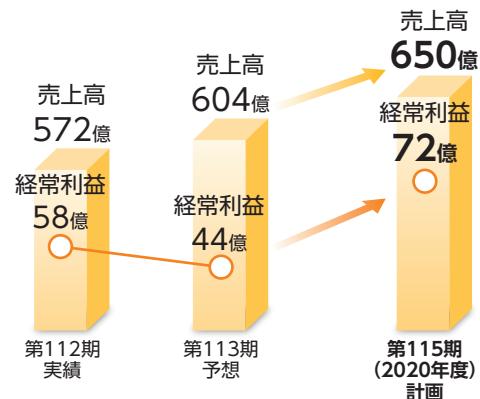
#### 3 グローバル展開の加速

自動車メーカーのグローバル展開に対応し、技術提携先との連携・支援を強化

#### 4 持続的な成長に向けた事業基盤の充実

働きやすい環境づくりやESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みを推進し、将来に向けた事業基盤の充実を図る

### 業績目標

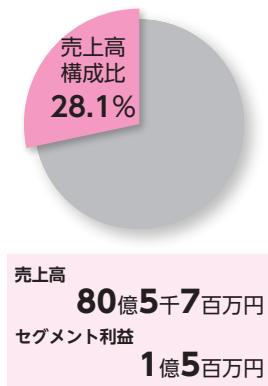


株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年11月

## セグメント別事業概況

### 塗料関連事業



売上高は工事関連売上が好調に推移し、前年同期を上回りましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰、固定費増加等により前年同期を下回りました。

品別売上高につきましては、屋根用塗料、床用塗料、防水用塗料等の建築・構築物用塗料はほぼ前年同期並みとなったものの、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、大型物件の受注増加等により前年同期比43.8%増と大きく伸ばしました。

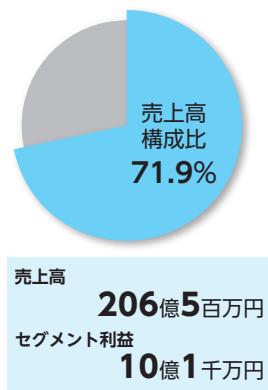


シート防水材用塗料「ノンリコート」(パナソニックアリーナ(大阪))



塗り床材「コートタック」(東京ドームローラースケートアリーナ)

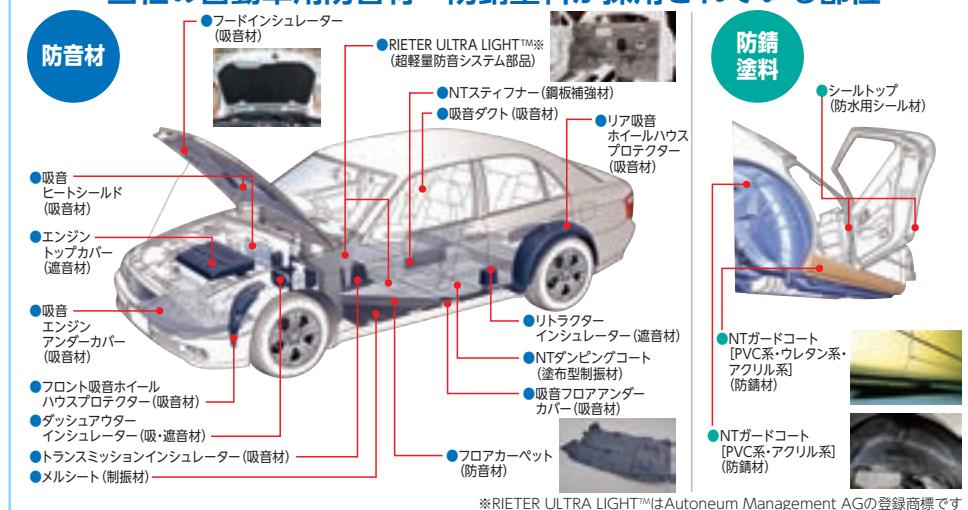
### 自動車製品関連事業



売上高は国内外で新規部品を中心に受注が増加したことから前年同期を上回りました。セグメント利益は、生産効率化に努めたものの売上原価の高止まりで、前年同期を下回る結果となりました。

品別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が、前年同期比15.1%増と大きく伸張し、防錆塗料等の塗材、金型等その他売上も順調に推移いたしました。

### 当社の自動車用防音材・防錆塗料が採用されている部位



### その他 (保険代理業)



## 米国「UGN社」でメキシコ新工場が稼働を開始。

当社関連会社の「UGN社」は、1986年に米国シカゴ近郊に設立され、米国中部で4工場を運営、北米日系自動車メーカーへの防音材供給メーカーとして確固たる地位を確立しています。

北米・中南米への自動車供給基地として期待されるメキシコには、既に2013年12月に工場を建設しておりますが、今般、トヨタ自動車をはじめとする日系自動車メーカーの生産増強に対応するため、既存の工場を移転。メキシコ・グアナファト州に新たな工場を建設し、稼働を開始いたしました。

新工場は、メキシコシティ市から北西に350キロのグアナファト州シラオに位置し、シラオ空港からは車で10分と交通至便、さらに26,257㎡の新工場に対して敷地面積は77,569㎡と将来の拡張も十分に展望できる好立地にあります。

また、日系企業の投資誘致に積極的に取り組むグアナファト州は、日系自動車関連企業が相次いで進出する工業地域というだけでなく、世界文化遺産に登録された州都グアナファトの歴史的な街並みは、観光客の人氣が非常に高いエリアでもあります。

メキシコは米国への輸出拠点として、年間400万台の自動車を生産しています。当社グループは、UGNメキシコ新工場を通して、自動車メーカーの増産に応じて最適な防音製品を供給し、同国の経済発展にも積極的に貢献してまいります。



▲メキシコ新工場外観



▲新工場竣工式

## 国際海事産業の総合展示会「SEA JAPAN 2018」に出展。

当社は、2018年4月11日から13日の3日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場）で行なわれた国内最大の国際海事産業総合展示会「SEA JAPAN 2018」に、船舶用防火制振材「オーシャンコンフォート」を中心とした製品を出展いたしました。

「SEA JAPAN」は、2年毎に開催される展示会で、当社としては、2016年に続き2回目の出展となります。

船舶関連の展示会ということもあり、出展した580社の約4割、221社が海外からの出展で、国際色豊かな会場には、3日間で2万人以上の来場者がありました。

当社は、前回に続き株式会社大晃産業との連名で参加し、船舶用防火制振材「オーシャンコンフォート」を主体に、制振材の「オーシャンダンパー」・「オーシャンW」、さらに吸音製品として「オーシャンデコ」を展示するなど新たな製品展開を加え、品揃え豊富な製品群に多くの反響をいただきました。今後もさらなる事業展開、新製品開発に取り組み、持続的な企業価値向上に努めてまいります。



▲吸音材「オーシャンデコ」



▲制振材「オーシャンダンパー」



▲(株)大晃産業・当社ブース

# 会社概要・株式の状況 (平成30年9月30日現在)

## 会社概要

商号	日本特殊塗料株式会社
英文社名	Nihon Tokushu Toryo Co., Ltd.
創業年月日	昭和4年6月1日
資本金	4,753百万円
従業員数	581名(141名*) [連結1,173名(433名*)] *( )内人員は臨時従業員の外数です。

## 役員

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	野島雅寛
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	酒井万喜夫
代表取締役専務 最高財務責任者(CFO)	田谷純
常務取締役	遠田比呂志
取締役	水野賢治
取締役	山口久弥
取締役	安井芳彦
取締役	土井義彦
取締役*	土奈良道博
取締役*	矢部耕三
常勤監査役	川名宏善
監査役*	高橋善樹
監査役*	松藤斉

\*印は社外取締役・社外監査役です。

## 執行役員

執行役員	西岡寿美
執行役員	南雲三智夫
執行役員	立花哲弥
執行役員	鈴木裕史
執行役員	中村信
執行役員	栗原洋幸

## 株式の状況

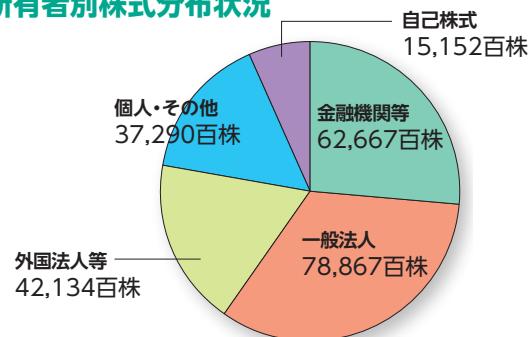
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式1,515,290株を除く)	22,095,910株
株主数	2,471名

## 大株主の状況

株主名	持株数 百株	持株比率 %
AUTONEUM HOLDING AG	31,151	14.10
関西ペイント株式会社	18,677	8.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,246	6.45
株式会社三菱UFJ銀行	8,788	3.98
明治安田生命保険相互会社	7,560	3.42
株式会社中外	7,267	3.29
トヨタ自動車株式会社	7,054	3.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,934	2.69
ニットク親和会	5,146	2.33
株式会社ヒロタニ	4,990	2.26

(注) 当社は自己株式1,515,290株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



# 事業所 (平成30年9月30日現在)

## 国内事業所

- 本社 東京都北区
- 開発本部 東京都北区
- 営業所
  - 東京営業所 東京都北区
  - 営業統括部 東京都北区
  - 神奈川営業所 神奈川県平塚市
  - 東日本第1営業所 神奈川県平塚市
  - 東日本第2営業所 群馬県館林市
  - 中部営業所 愛知県知立市
  - 中日本営業所 愛知県知立市
  - 大阪営業所 大阪府吹田市
  - 中四国営業所 広島県東広島市
  - 西日本第1営業所 広島県東広島市
  - 九州営業所 佐賀県三養基郡
  - 西日本第2営業所 福岡県行橋市
  - 工業開発部 東京都北区/愛知県知立市
  - DIY販売部 東京都足立区

- 工場
  - 平塚工場 神奈川県平塚市
  - 静岡工場 静岡県御前崎市
  - 愛知工場 愛知県知立市
  - 広島工場 広島県東広島市
  - 九州工場 佐賀県三養基郡
  - 東九州工場 福岡県行橋市

## ●関連会社

- ニットク商工株式会社 東京都北区
- ニットクメンテ株式会社 東京都北区
- 株式会社ニットク保険センター 東京都北区
- 大和特殊工機株式会社 神奈川県藤沢市
- 日晃工業株式会社 茨城県坂東市
- 株式会社タカヒロ 広島県東広島市
- 株式会社ニットクシーケー 福岡県行橋市
- 富士産業株式会社 神奈川県平塚市
- 梅居産業株式会社 福岡県福岡市

●=事業所  
●=関連会社



▲本社



▲開発センター

## 海外事業拠点・関連会社

- Uni-NTF,INC. 米国 イリノイ州
- UGN,INC. 米国 イリノイ州 他 全6事業所
- SNC Sound Proof Co.,Ltd. タイ チョンブリー県
- SRN Sound Proof Co.,Ltd. タイ チョンブリー県
- 日特固(広州)防音配件有限公司 中国 広東省広州市
- 天津日特固防音配件有限公司 中国 天津市
- 武漢日特固防音配件有限公司 中国 湖北省武漢市
- Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd. インド タミル・ナードゥ州チェンナイ市
- PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM インドネシア 西ジャワ州



▲UGN,INC.



▲SNC Sound Proof Co.,Ltd.



▲SRN Sound Proof Co.,Ltd.



▲日特固(広州)防音配件有限公司



▲天津日特固防音配件有限公司



▲武漢日特固防音配件有限公司



▲Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.



▲PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは予め公告して定めた日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.nttoryo.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします)  
上場証券取引所 東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社へご照会ください。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）までご連絡ください。

特別口座について  
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）までご連絡ください。

未払配当金の支払いについて  
左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）にお申出ください。

## 株主の皆様へ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

「省エネ・節電」が求められる状況をふまえ、弊社の省エネ・遮熱塗料をご案内申し上げます。改修工事をごいましたらぜひ下記営業所までお問い合わせください。担当者が最適なお提案をさせていただきます。

省エネ・遮熱塗料は建物の屋根から外壁、ガラス面などへ塗装することにより、室内温度の低減が期待できるため、これに伴う節電も期待されています。ニトックでは建物をまるごと対策できる遮熱ラインナップをそろえ、皆様のご連絡をお待ちしています。

省エネ・遮熱塗料についてのお問い合わせ先

## 日本特殊塗料株式会社

### ■塗料事業本部

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2  
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10  
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12

☎(03)3913-6203  
☎(0463)23-2135  
☎(0566)81-8111

大阪営業所 〒565-0852 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492  
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231  
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766

■本社 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

☎(03)3913-6131

<http://www.nttoryo.co.jp/>

### ■省エネ・遮熱塗料での改修個所の例

#### ベランダ・バルコニー用省エネ・遮熱塗料

##### プルーフロンGRトップ遮熱 ノンリークコート遮熱

ベランダ面などに当たる太陽光線を反射し、熱を放射する遮熱タイプの塗料です。

#### ガラス面用省エネ・遮熱塗料

##### NTサーモバランスNEO1

既存の窓ガラスに塗布し、赤外線、紫外線カットができる透明タイプの塗料です。

#### 通路用省エネ・遮熱舗装材

##### ユータックシリカ遮熱

太陽光や熱の蓄積を抑え、路面温度の上昇を減少し、ヒートアイランド現象を緩和する塗料です。

#### 外壁用省エネ・遮熱塗料

##### パラサーモ外壁用シリーズ NTダンネツコート シルビアセラティ-N遮熱

外壁面からの熱の侵入を遮り、省エネルギーに貢献するとともに快適な居住空間を実現します。

#### 屋根用省エネ・遮熱塗料

##### パラサーモシリーズ

屋根からの太陽熱の侵入を防ぎ、室内の温度上昇を抑える塗料です。

